

学習指導略案

1. 対象

高校2年生（修学旅行でオーストラリアにおいてホームステイをする予定）

2. 題材

ホームステイ先のホストファミリーとのメールのやりとり

（手紙ではなく、リアルタイムで情報の交換ができるというメールの特徴を活用する。）

3. 本時の目標

- ①メールから必要な情報を読み取ることができるようになる。
- ②英語を使って話し合うことができるようになる。
- ③話し合った内容をまとめ書くことができるようになる。
- ④オーストラリアの文化を理解する。

4. 指導過程

	指導内容	指導上の留意点
導入 (5分)	・メールの読み取り⇒ディスカッション⇒返信という、今回の授業の流れを説明する。	・この間に、生徒はパソコンを立ち上げ、メールを見られる状態にする。
展開 (40分)	①ホストファミリーからのメールの内容を読み取り、グループごとに日本語で発表する。 ②「オーストラリアで行きたいところ」という題を与え、どのようなメールにするのかグループでディスカッションをする。 ③メールで使えるフレーズやボキャブラリーのプリントを配布し、意味の確認や、どのような状況で使えるか説明する。 ④話し合った内容をまとめ、メールを作成する。	①・メールを訳すのではなく、内容をまとめるように指導する。 ②・インターネットを活用し情報収集する方法を指導する。 ③・実際にどのような内容を書くときに使えるのかという例を多く与えるようにする。 ④・グループのメンバーで文法のミスを訂正させる。 ・必要に応じて、デジカメでの写真撮影もできるようにしておく。
まとめ (5分)	・次回は「大阪の良いところ」についてメールを送るので、自分で調べてくるように言う。	・学校のパソコンの使用方法をもう一度説明しておく。 ・ウェブでの検索の方法も説明する。